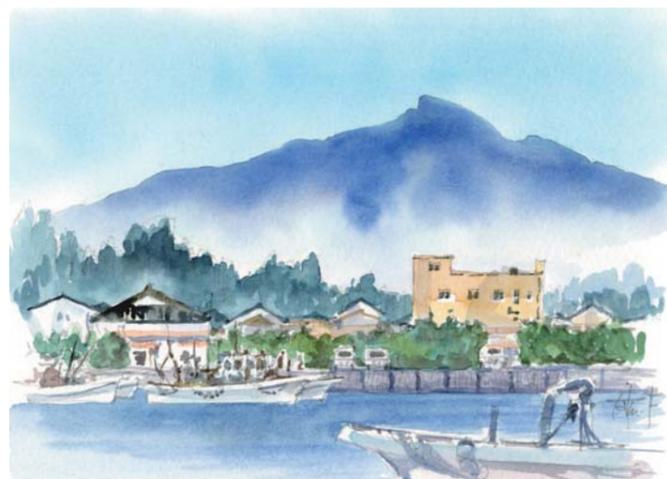




海辺
みんなが描く
故郷の風景
未来

故郷の風景を留めて

毎日通った駅、いつも通った道、
毎日見た街並み、海、山の景色
この故郷の風景を忘れない



スケッチ：古山拓（画家・挿絵家）

上：神社から釣師地区を望む、左下：新地駅、右下：漁港から鹿狼山を望む

防災緑地
ワークショップとは

津波被害を受けた釣師・埴浜地区において、防災緑地の整備を計画しています。

今回整備する防災緑地では、防災機能を確認しながら、自然豊かで、スポーツやレクリエーション、地域活動などに利用される緑地づくりを目指しています。

このため、計画段階からみなさまと意見を出し合える『ワークショップ』を開催し、設計内容や管理方法等に反映していきます。

第2回目のワークショップでは、公募した方々と一緒に、図面を広げながらどういう緑地や海辺にしたいか検討を行いました。

防災緑地とは

津波から人、まちを守る助けとなる大きな森です。

目的と役割

- ✓津波の防御や避難路、避難地となり、復旧・復興の支援、防災教育の場所ともなります。
- ✓地域の再生や美しい景観、豊かな自然の再生・創出を図ります。



絵はイメージです。

スケジュール

- 6月6日(木) 第1回ワークショップ
防災緑地を知ろう!
- 7月4日(木) 第2回ワークショップ
こんな海辺にしたい!
- 8月8日(木) 第3回ワークショップ
防災緑地を描く!
- 9月上旬 第4回ワークショップ
プランのまとめ、アクションを考える!
- 10月上旬 第5回ワークショップ
成果の確認!

町のみんなの声募集!

「こんな海辺の緑地にしたい!」
ワークショップに参加できなかったけど、言いたいことが沢山ある方、この新聞を見てのご感想などなんでもいいのでみなさんの声を聞かせてください。
ご連絡は下記問い合わせ先までお願いします。

興味のある方大歓迎!

来て・見て・寄ってって!

まだあと3回あります。興味のある方は傍聴することができます。是非お立ち寄り下さい。あわせて、ご意見ご感想などお寄せ下さい。

問い合わせ先：新地町役場復興推進課

2013年8月5日発行

☎ 0244-62-2134 FAX 0244-62-3194 Eメール revive@shinchi-town.jp

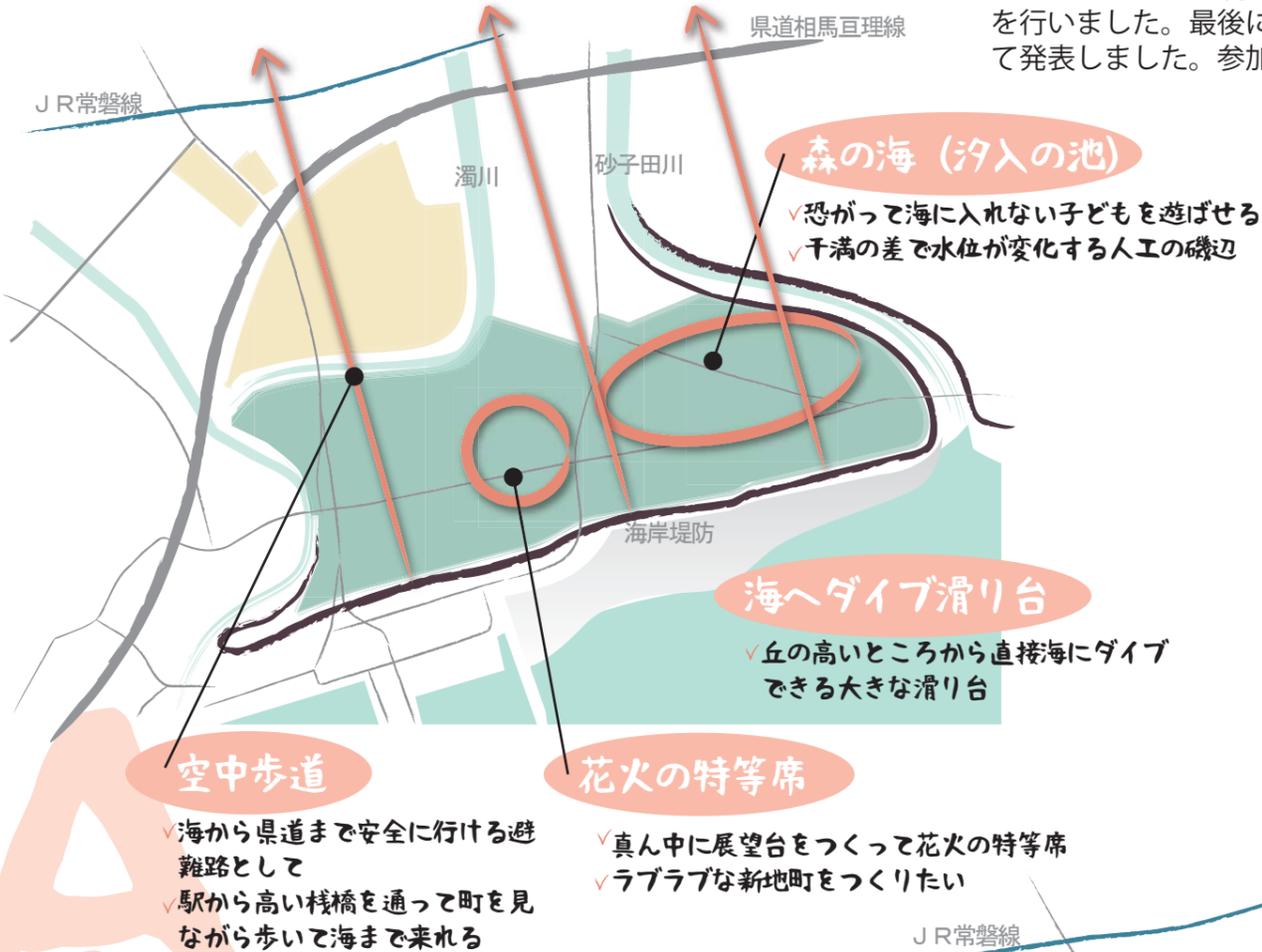
〒979-2792 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田 30 番地

みんなの声

こんな海辺にしたい

第2回は「こんな海辺にしたい」をテーマに3つのグループに分かれて「どこで、何がしたい、何のために！」について検討作業を行いました。最後にグループのアイデアの“売り”をとりまとめて発表しました。参加者みんなの声をお届けします。

Group C



子どもたちのために

自然を活かしたアスレチック

- ✓ アスレチック広場、アスレチック遊具などを置いて、子どもたちを放っておいても安心な施設

賑わいづくりのために

幕の内弁当のような

- ✓ サーフィンやる人、マラソンやる人、散歩する人、子どもを遊ばせる人、いろいろな人が集まる場所
- ✓ 幕の内弁当みたいに、少しずついろんなメニューが入ってる

日常利用のために

海が見える丘

- ✓ 全部高い丘にして、日常的に海が見えてランチができたりするところ



Group A

Group B